

## バンの樹上営巣の観察

松岡 茂

バン (*Gallinula chloropus*) は、オーストラリア大陸を除く、世界の大陸に広く分布し、日本でも全国で繁殖する(日本鳥学会 1974)。日本の鳥類図鑑等によれば、バンの営巣場所は、湖、河川、沼沢地の水辺のアシ、マコモの茂みや水田となっており、巣は浅い水中に植物を積み上げて造られる(小林 1954, 清棲 1965, 高野 1981)。しかし、Harrison (1975)によれば、ヨーロッパでは、バンは通常水辺の地上や水上に巣を造ることが多いが、時には樹上にある他の鳥の古巣の上にも造る。

日本では比較的観察例が少ないと思われるバンの樹上営巣を、茨城県で観察したので報告する。

1984年6月16日に、筑波郡谷田部町にある農業研究センターの防風林でキジバトの巣のセンサスを行っていた時に、樹上から黒い鳥が飛び立って近くの水田に下りた。双眼鏡でバンであることを確認した後でその付近を探すと、もう1羽のバンが樹上で抱巢中であった。このバンは、巣を離れなかったため、この時は巣内の様子を観察できなかった。しかし、2日後の6月18日に、再び訪れたところ、巣の下の地上に、バンの卵が2個壊れて落ちていた(壊れた卵を写真撮影し、後に図鑑に載っているバンの卵の色や大きさと比較したところ、それらは図鑑の記載事項と一致した)。筆者が巣に近づいたとき、巣の近くに親鳥がいて飛び去ったが、巣は壊されており、中には何も入っていなかった。巣が壊された原因は不明である。その後、親鳥はこの巣に姿を見せず、営巣は失敗に終わった。

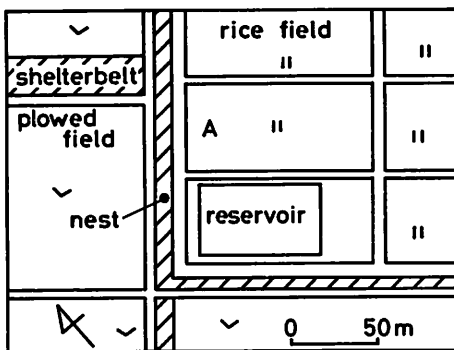


図1. バンの樹上営巣場所と付近の環境。  
Fig.1. Nest site of the moorhen and surrounding environment. After the nest was destroyed the moorhen nested in rice field "A".

バンの巣が見つかった防風林は、ほぼ北東から南西方向に3列の樹が植えられており、樹種は、北西側2列がヒマラヤスギで、南東側1列がサワラであった。樹高は、両種とも約5~6mであった。防風林の幅は比較的狭く、列間は各々約4m、計約8mであった。防風林の北西側は農業研究センターの畑であるが、南東側には農業環境技術研究所の水田と農業用の貯水池があり、バンにとって比較的良好的な生息環境となっている(図1)。バンの巣は、防風林のまん中の列に植えられているヒマラヤスギ(胸高直径は13cm)の、高さ2.6mの枝(幹から5cmの所の太さは約3cm)の

1986年9月9日受理

〒305 茨城県筑波郡谷田部町観音台3-1-1. 農業研究センター

上にあった。少し上方に向かって伸びている枝の最も幹に近いところに巣はあり、なおかつそれは幹と接触していた。バンの巣は、キジバトの古巣と思われる細い樹枝を粗く組み合わせた上にあり、イネ科の植物をさらに古巣に積み重ねた構造のものであった。しかし、壊されていたために、巣の正確な大きさは記録できなかった。

その後7月24日に、おそらく同じ番いと思われるバンが、貯水池の北東側の水田で営巣しているのが確認された(図1, Aの水田)。1985年、1986年も同じ水田でバンの繁殖が観察されているが、樹上での営巣の試みはその後観察されていない。

謝辞：水田内にあるバンの営巣場所を教えて下さった農業研究センターの小泉信三氏に感謝の意を表す。

#### 文 献

- Harrison, C. 1975. A field guide to the nests, eggs and nestlings of European birds with North Africa and the Middle East. Collins, London.
- 小林桂助. 1954. 原色日本鳥類図鑑. 保育社, 東京.
- 清棲幸保. 1978. 日本鳥類大図鑑II. 講談社, 東京.
- 日本鳥学会. 1974. 日本鳥類目録. 学習研究社, 東京.
- 高野伸二. 1981. 日本産鳥類図鑑. 東海大学出版会, 東京.

#### Moorhen (*Gallinula chloropus*) nests on tree

Shigeru Matsuoka

In Ibaraki Prefecture on 16th June 1984, I found the nest of a moorhen in a shelterbert on the side facing a rice field. The nest was on a branch of cedar *Cedrus Deodara* (2.6 m above the ground) and was constructed with grass on the old nest of an other bird (probably of *Streptopelia orientalis*). The nest was destroyed two day after I found it and two broken eggs were on the ground.

Agricultural research Center, Yatabe-machi, Ibaraki 305.